

科学技術政策担当大臣等政務三役と総合科学技術会議有識者議員との会合 議事概要

- 日 時 平成24年9月13日（木）10：00～10：30
- 場 所 合同庁舎4号館第3特別会議室
- 出席者 古川大臣、後藤副大臣、相澤議員、奥村議員、青木議員、今榮委員、大西議員、白石議員、中鉢議員、平野議員、倉持統括官、中野審議官、吉川審議官、大石審議官

○ 議事概要

議題1. 平成25年度アクションプラン対象施策の特定について

- 相澤議員 1番目の議題は平成25年度アクションプラン対象施策の特定についてでございます。アクションプランの策定には随分時間がかかりましたが、いよいよ対象施策を特定するという段階にまいりました。それでは、その内容について説明をお願い致します。

< 匂坂参事官より説明 >

- 相澤議員 対象とすべき施策の数が大変多いので、個々についての御議論はなかなか難しいかとは思いますが、全体像をつかんで頂いて、最後の特定の状況を中心に御意見がございましたらお願いしたいと思います。如何でしょうか。
今回、アクションプランの特定にあたっては、プロセスから申し上げますと、戦略協議会を新たにスタートし、戦略協議会で政策課題と重点的取組をまとめて頂いた。このプロセスが入ったということは、予算編成プロセスの中でも非常に特記すべき内容だと思えます。つまり、色々なセクターの方々に戦略協議会に加わって頂いて、オープンな場で、この予算特定をしていく時のプロセスに深く関わって頂いたということは、大変重要なことであったと思えます。それに基づいて各府省は、その政策課題、重点的取組に対応して施策を策定し、そして提案する、こういうプロセスに入った訳です。その個別施策の特定は、総合科学技術会議の有識者議員を中心に、必要に応じて外部の有識者の御意見を伺いながら、この特定の結論を得たということになっております。
それから、本日、この「イー1」としてまとめられている冊子は、この形でホームページにも載せ、公開されるものでございます。そこで、復興、グリーン、ライフ、それぞれ最後にどうということが期待されるのかということをつかり易くまとめてあります。これが、特にこれを見て頂く社会からのわかり易い形での表現になっている訳であります。如何でしょうか。
- 後藤副大臣 御意見があまり無いようですから、少し私から有識者議員の皆様をお願いしておきたいと思えます。「イー2」の1枚紙の部分で、これはそれぞれの事業で性格上、当然3年、5年という時間がかかるのはよく分かって、例えば123施策の特定を今回アクションプランでして頂いて、新規が21施策ということで、逆に言えば5分の4は継続事業だということだと思えます。そういう意味では、各年度の評価も含めて、この123施策全てをこの場で御議論頂くのは大変難しいと思うのですが、新規がなかなか入ってこないというのが、この研究の部分の大きな課題であり、それをどう新しいものに変えていくかということもあるので、この継続の部分と新規の部分について、また年度末に継続分を評価する時に、その視点を持ってやって頂かないと、ちょっとなかなか新しいものが。今、相澤議員がおっしゃったようにアクションプランという流れの中でやっているものの、そういう所期の目的に対応出来ないような感じもするので、ぜひそういう検証と、そして新しいものをその中でどう位置付けるかというのは、さらに今回の色々な御議論の中で色々な意見が出ましたが、また次に向けて、予算編成に向けて、そういう視点も含めて持って、この場での色々な議論をお願いしたいと思います。

- 相澤議員 只今の御指摘の点は、この特定プロセスに関わっている議員としても問題意識を持

っているところだと思います。奥村議員、如何でしょう。只今のところは、我々も常に議論をしていたところだと思いますが。

○奥村議員　そうですね。まさに御指摘のとおりで、今、相澤議員がおっしゃったように問題意識を持っています。硬直化していきますので。ポイントは、やはり個別施策を誘導する、その上位の重点的取組、或いは政策課題と言っている部分ですね。ここをどういうふうに情勢を見ながら変えていくのかということが実はキーなのです。今年は一部のところでは重点的取組を変えたところがありますが、基本的に前年を踏襲しているのです。従って、ほとんど継続ということになっていますので、こういった制度全体の設計のあり方というのを、もう少し深掘りして、新しい知恵を発掘するような努力をしていきたいと思っています。

○相澤議員　その他御指摘頂くことはございませんでしょうか。本日、古川大臣に御出席頂いておりますので、予算編成プロセスの中でアクションプランの対象施策がこれで特定出来ました。この段階で大臣からのお言葉を頂ければと思います。

○古川大臣　本日、この平成25年度科学技術重要施策アクションプランの対象施策を科学技術政策担当大臣と総合科学技術会議有識者議員との連名で取りまとめることが出来ましたこと、本当に皆様方のこれまでの御尽力に心から感謝を申し上げたいと思います。

今回特定されました施策は、いずれもアクションプランに掲げる政策課題を達成する上で大変重要な施策であり、最重点で進めるべきものでございます。また、日本再生戦略の中のグリーン成長戦略であるとかライフ成長戦略などの他の国家戦略との関連にも十分配慮して、各担当部局と密接に連携して検討を進めてきたところでございます。これらの戦略を実現するためにも重要な要となる施策であります。施策の特定に当たりましては、各省から提案のあった施策につきまして実行計画の精査などブラッシュアップが行われて、また、各省の取組に横串を通して府省連携と重複排除が強力に推し進められたものというふうに理解を致しております。その過程では、本当に皆様方には大変に労力、お時間も割いて頂いたということを改めて感謝を申し上げたいと思います。

今後、我が国が抱える重要課題の達成と科学技術イノベーションの実現に向けては、これらの施策をしっかりと実効あるものにしていくということが極めて大事でございます。今後とも皆様方とともに、私も科学技術政策担当大臣として全力を尽くしてまいりたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

議題2. 平成25年度重点施策パッケージ特定及び基礎研究・人材育成関連施策に関する日程・体制(案)について

(有識者議員の率直な意見交換の場とするため非公開)

(以 上)